

ウルフドッグス名古屋

テーマ：多文化共生 × 地域コミュニティ構築

障害・言語・家庭環境など様々な壁を越えたコミュニティを、ウルフドッグス名古屋と共につくる企業・スタートアップを募集します。

1. Why (なぜ取り組むか)

ミッション

「多様な人々がつながる共生社会」の先行モデルを打ち出す。

ビジョン

クラブを起点として、障害や言語、家庭環境などの様々な壁を乗り越えながら、誰もが地域コミュニティに関わり続ける仕組みをつくる。

背景

様々な障壁によってスポーツや地域コミュニティへの参加機会が限られている人たちが相当数いる。

2. How (どのように実現するか)

提供資源

- ホームアリーナを核とした地域ネットワーク（行政・福祉団体との連携実績）
- ファンベース
- ホームゲーム
- ホームタウン活動
- マーケティングチャネル 等

※協業時の具体的な試合、活動等については協議の上、実施可能性を検討

実現イメージの一例 ※あくまでイメージであり、これにとらわれる必要はありません

- 来場が難しい方にも試合の臨場感を届ける遠隔・VR 観戦体験
- 障害のある方・言語の違いのある方が継続参加できる多言語・インクルーシブなコミュニティプログラム
- 家庭の事情により機会が限られる子どもの試合観戦体験

3. Who (誰に届けるか)

日常的にスポーツ観戦や地域活動へ参加する機会が限られている方々

- 障害のある方
- 家庭環境により制約のある方
- 言語の違いのある方
- 上記に限らず、日常的にスポーツ観戦や地域活動へ参加する機会が限られているすべての人

4. What (何を届けるか)

多種多様な人々が、クラブを接点として地域やスポーツとつながるサービス

- **初めての接点** ウルフドッグスのスポーツ観戦体験、地域活動体験、コンテンツ体験
- **継続できる居場所** 日常の中で繰り返しウルフドッグスに関われる場と関係性
- **参加のしやすさ** 様々な壁により、これまで参加を諦めていた方が「参加できる」環境
- **応援する体験** アリーナで多くの人達との一体感や感動を味わえる体験への道筋

5. Others (数値目標・スケジュール)

マイルストーン	<ul style="list-style-type: none">● 実証期間（2026年秋～2027年春）：地域コミュニティを対象とした実証プログラムの実施● 実証後（2027年～）：継続モデルの確立とSVリーグ内先行事例化● 3～5年後：他クラブへの横展開を視野に入れたスケールアップ
KPI 候補	<ul style="list-style-type: none">● プログラム参加者数・継続参加率● 連携支援団体・ステークホルダー数● ウルフドッグスの新規認知・ファン化件数 等 <p>※具体的な数値目標は採択企業との協議を経て設定</p>

各クラブが提示するテーマ・課題認識・提供可能なアセット・想定する実現イメージは以下のとおりです。ここに記載する実現イメージはあくまで一例であり、これにとらわれない自由な発想でのご提案を歓迎します。